高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　地理歴史　　科目 地理総合

教　科： 地理歴史　　科　目： 地理総合　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ I 組

使用教科書：（ 高等学校　新地理総合　（帝国書院）、高等地図帳（二宮書店）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理総合　　の目標：社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1部　地図でとらえる現代世界 第１章　地図と地理情報システム １節　地球上の位置と時差 【知識及び技能】 地球上の位置情報の基礎として，球体としての地球，緯度・経度の基本的なしくみ，地球上での位置の示し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経度の違いから時差の概念を捉え，日常生活における時差計算の技能を身につけ，球面として成り立つ世界認識をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し，作業や考察に取り組む。	・指導事項 「地球上の位置と生活」 「時差と私たちの生活」 ・教材 教科書、新地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・緯度・経度の基本的なしくみ，緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 ・時差のしくみ，時差が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・緯度・経度の基本的なしくみ，緯度の違いが生活に与える影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・時差のしくみ，時差が生活に与える影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時差のしくみ，時差が生活に与える影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	2
	2節　地図の役割と種類 【知識及び技能】 身近な地図を集め，それらの地図の特徴を捉え，地図情報の有用性を理解する。地図情報を活用する方法として，紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し，地理院地図や地形図を通して認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 GISが日常生活にも利用されている実例を捉え，大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法，そのしくみについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 GISで作成した地図を重ね合わせ，地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。	・指導事項 「地球儀と地図」 「身の回りの地図」 「統計地図の種類と利用」 「地理情報システム（GIS)の利用」 ・教材 教科書、地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・球体の地球と平面の地図，さまざまな地図投影法（図法）について理解している。 ・身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について理解している。 ・統計地図の種類，統計地図の比較と使い分けについて理解しており，基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ・地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術，GISの活用場面について理解しており，基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・球体の地球と平面の地図，さまざまな地図投影法（図法）について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・統計地図の種類，統計地図の比較と使い分けについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術，GISの活用場面について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球体の地球と平面の地図，さまざまな地図投影法（図法）について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術，GISの活用場面について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	3
	第２章　結びつきを強める現代世界 １節　現代世界の国家と領域 【知識及び技能】 図法によって異なる世界地図の特色を捉え，スケール，視点，図法などを変化させながら，世界における日本の位置を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバルな立場から日本の領域を理解するために，国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら，日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な世界地図の違いに関心を持ち，資料などから様々な世界地図の存在に気づく。	・指導事項 「現代世界の国家」 「日本の位置や領域」 ・教材 教科書、地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・国境の種類，国家の領域，国家の主権について理解している。 ・日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・国境の種類，国家の領域，国家の主権について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国境の種類，国家の領域，国家の主権について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第２部　国際理解と国際協力 第１章　生活文化の多様性と国際理解 １節　世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 世界の大地形の広がりがプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し，変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し，地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 河川，海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり，およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について，写真や地形図などの資料を通して考える。 【学びに向かう力、人間性等】 地形図や分布図，写真，模式図の読み取りに意欲的に取り組む。	・指導事項 「大地形と人々の生活」 「変動帯と人々の生活」 「安定地域と人々の生活」 ・教材 教科書、新地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響，地震・火山と生活への影響について理解している。 ・安定地域の平野と生活への影響，安定地域の山地と生活への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響，地震・火山と生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・安定地域の平野と生活への影響，安定地域の山地と生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響，地震・火山と生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・安定地域の平野と生活への影響，安定地域の山地と生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	4
		・指導事項 「河川がつくる地形と人々の生活」 「海岸の地形と人々の生活」 「氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活」 ・教材 教科書、新地理総合ノート、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について理解している。 ・海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて理解している。 ・氷河地形と生活の関わり，カルスト地形と生活の関わり，乾燥地形と生活の関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・氷河地形と生活の関わり，カルスト地形と生活の関わり，乾燥地形と生活の関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・氷河地形と生活の関わり，カルスト地形と生活の関わり，乾燥地形と生活の関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	第3部　持続可能な地域づくりと私たち 第１章　自然環境と防災 【知識及び技能】 日本列島の地形と気候の特徴を主題図，グラフ，写真などの資料をもとに，多様性や自然の恩恵があることを認識しながら，自然災害を与える要素があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため，風水害，火山，地震・津波，都市型の災害の具体的な事例について，新旧の地形図，ハザードマップ，気象情報，電子地図などを利用する技能とともに捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害はどのような自然環境と関係しているのか，それに対する備えはどうすれば良いのか考え，居住地域での防災・減災意識の向上につなげる。	・指導事項 「日本の地形」 「日本の気候」 「地震･津波と防災」 「火山災害と防災」 「気象災害と防災」 「自然災害への備え」 ・教材 教科書、準拠ノート、プリント、ハザードマップ、端末 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。日本列島における自然災害について具体的事例を通じて，災害のしくみや特徴，地域性，防災への取り組み方や課題を理解できたか。地形図やハザードマップを活用し，防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。 【思考・判断・表現】日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できたか。日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り，それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。自らの生活圏の防災について，資料から適切に判断し，課題と避難行動を協議できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し，過去の災害事例を調べることができたか。GISなどを活用し，自然災害への対策を意欲的に探究できたか。災害発生時の自助・共助・公助をふまえ，身近な地域で発生が予想される場面を想定して，意欲的に対策を検討できたか。	○	○	○	5
	第１章　3 国内や国家間の結びつき 【知識及び技能】 グローバル化が進む世界において，国家間の協調や不均衡を理解するために，世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信，貿易・物流，観光の視点から，人やもの，情報，資本・サービスの移動のようすについて，統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために，資料を根拠として示しながら課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。	・指導事項 「国家間の結びつき」 「貿易によって結びつく世界」 「さまざまな交通網の発達」 「世界を結ぶ通信網の発達」 「観光のグローバル化」 ・教材 教科書、地理総合ノート、 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 【思考・判断・表現】複数の統計地図を結びつけ，世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】統計資料を意欲的に読み取り，それを表現できたか。統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。	○	○	○	2
	2節　世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え，地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え，植生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 熱帯，乾燥帯，温帯，亜寒帯，寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか，どのような生活の工夫があるのか，写真や雨温図などの資料から考える。	・指導事項 「１　気温・降水と人々の生活」 「２　大気循環と人々の生活」 「３　世界の植生と気候区分」 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し，各気候と植生の対応や，それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り，整理できたか 【思考・判断・表現】世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。写真などの資料をもとに，各気候により景観が異なることを捉え，農業や生活への影響を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】雨温図や写真の判読を通じて，世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	3 産業と生活文化 【知識及び技能】 世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え，世界スケールにおける第1次産業，第2次産業，第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業の発達と生活文化がどのようにかかわるのか，産業はどのように変化してきているのか，主題図などの資料を通じて理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 【思考・判断・表現】自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを，時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	○	○	○	2
	4 宗教・言語と生活文化 【知識及び技能】 世界でみられる生活文化の多様性について，宗教，言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界の少数民族，移民，難民の問題を捉えながら，マイノリティなどをふまえた多様な人々に配慮し，自他の文化を尊重する社会の実現を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 【思考・判断・表現】自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを，時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	○	○	○	2
	1 地球環境問題 【知識及び技能】 持続可能な地球社会を考えるうえで，地球規模で起きている環境問題は，一国だけで対応できるものではないこと，多面的・多角的に考えていくことが必要であること，自らとかかわる問題であることをSDGsをふまえて認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 深刻な地球環境問題を生じている大気汚染，森林減少，砂漠化，気候変動について事例をあげて捉え，それぞれの影響と将来の予測から解決の取り組みについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 地球環境問題のしくみや原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究する。	・指導事項 「多様な地球環境問題」 「熱帯林の破壊への対策」 「地球温暖化への対策」 「海洋汚染について考えよう」 ・教材 教科書、資料集、準拠ノート、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。国際機関のウェブサイトや主題図，統計資料などから，環境問題の現状や原因を情報収集できたか。環境問題の現状を捉え，原因や影響を図解して整理できたか。 【思考・判断・表現】世界のどこで，どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ，持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。SDGsの目標をふまえ，海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】地球環境問題のしくみや原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し，どのような行動ができるかを追究できたか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	3節　資源・エネルギー問題 【知識及び技能】 地球規模で起こる資源の問題について主題図などの資料をもとに考え，偏在して分布することで保有国と非保有国との間に格差があることを認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギー資源の変化を捉えながら資源の大量消費によって枯渇の恐れがあることを認識し，これらの解決のための取り組みをSDGsと関連づけて考える。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 「世界のエネルギー・鉱山資源」 「エネルギー利用の現状と課題」 「エネルギー問題への取組」 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】主題図から資源の分布が偏在していることを理解できたか。限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。 【思考・判断・表現】主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し，SDGsの目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ，その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し，持続可能な利用について追究できたか。	○	○	○	3
	4節　人口問題 5節　食料問題 【知識及び技能】 人口が急増している世界の現状を捉えるとともに，人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え，人口問題の背景や問題点を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会をつくるために，飢餓とその要因である人口問題，食料問題について，主題図やグラフなどの資料を集め，グローバル，ローカルのそれぞれ異なる視点から根拠をもとにSDGsと関連づけ対応策を構想する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界や主要国の人口の推移を捉え，他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し，人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できたか。人口資料をもとにした図版を読み取り分析することができたか。世界の食料問題を主題図などから現状を認識し，その自然的，社会的な背景を理解できたか。 【思考・判断・表現】世界の人口問題の現状を資料を比較しながらまとめ，日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できたか。飢餓と飽食の世界的な分布を主題図やグラフなどの資料から考察し，その背景とSDGsの目標をふまえ，とくに栄養不足人口が多いサブサハラを例として対策を協議できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】世界や主要国の人口の推移を捉え，他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究できたか。人口問題と食料問題をそれぞれ捉えながら，両者のつながりを図表などを用いて意欲的に整理し，国際社会の一員として取り組む国際協力を具体的に追究できたか。	○	○	○	3
	4 居住・都市問題 【知識及び技能】 世界では都市に人口が集まる現象がみられることを主題図やグラフから読み取り，人口が集まる都市内部の構造を景観をふまえ理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 途上国の大都市を中心に人口集中に伴う問題が生じていることを捉え，問題の要因を理解しながら，都市の問題の改善を目指した都市計画を取り上げ，SDGsと関連づけ都市問題の解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え，都市問題の事例をもとに多角的，多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】世界の視野で都市人口率の増加を捉え，都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえながら都市の構造を理解できたか。人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理できたか。 【思考・判断・表現】都市への人口集中を主題図やグラフから捉え，都市と農村の景観を比較しながら考察できたか。人口集中と都市問題の発生，途上国と先進国の都市問題を通じ，人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し，SDGsの目標とともに解決の方策や課題を提案できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え，都市問題の事例をもとに多角的，多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究できたか。途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に，国際協力の立場で課題解決に結びつけることができたか。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	地域調査の結果を発信しよう 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 地域調査で得られた結果について，ポスター，プレゼンテーション，報告書を作成する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】地域調査の結果を発表する方法を理解できたか。 【思考・判断・表現】主題図や写真などの資料を用いて考察したことを他者に説明できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】根拠となる資料を提示して他者に対してわかりやすく説明できたか。	○	○	○	2
							合計 70

文京　高等学校 令和７年度（１学年用）教科　地理歴史　科目 歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　I　組

使用教科書：（ 高等学校 歴史総合　（第一学習社）　）

教科　地理歴史　の目標：　社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会において主体的に生きる能力を育成する。

【知識及び技能】　我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解するとともに，歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用できる。

【思考力、判断力、表現力等】　歴史的・地理的事象から課題を見いだし，我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】　歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

科目　歴史総合　の目標：　近現代の世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え，資料を活用しながら，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察，構想する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我かんが国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**第一部　歴史の扉** 【知識及び技能】私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し，課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	〈　指導項目　〉 **①歴史と私たち** **②歴史の特質と資料** 〈　教材　〉 教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット	【知識・技能】複数の資料に基づいて，身近な地域などに見られる諸事象によって日本や日本周辺の地域の歴史が叙述されていることを理解する。 【思考・判断・表現】複数の資料の関係や異同に着目して，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史について，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し，課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	2
	第二部　近現代の世界と日本 **第１章　近代化と私たち** 【知識及び技能】交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけ，人々の生活や社会の在り方が近代化に伴い変化したことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	〈　指導事項　〉 **①18世紀のアジアの繁栄** ・東アジアの政治と国際秩序 ・東アジアの経済と社会 **②産業革命と市民革命** ・国際商業の覇権争いと大西洋三角貿易 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオン時代 ・大西洋革命 〈　教材　〉 教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット	【知識・技能】18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，工業化と世界市場の形成を理解する。 欧米の市民革命や国民統合の動向を基に，立憲体制の形成を理解する。 【思考・判断・表現】18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 産業革命や市民革命の影響に着目して，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し，課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第１章　近代化と私たち 【知識及び技能】交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけ，人々の生活や社会の在り方が近代化に伴い変化したことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	〈　指導事項　〉 **③イギリスの繁栄と国民国家の拡大** ・イギリスの繁栄 ・後進国の「上からの近代化」 ・ロシアの近代化と南下政策 ・アメリカ合衆国の膨張 **④アジア諸国の変貌と日本の開国** ・オスマン帝国の衰退と西アジア ・南アジアと東南アジアの植民地化 ・東アジアの動揺と改革 ・明治初期日本の外交と東アジアの国際秩序 ・日本の立憲国家への道のり **⑤帝国主義の発展** ・帝国主義の時代と列強の世界政策 ・日清戦争と中国分割 ・日露戦争とアジア ・日本の工業化と社会主義運動の高揚 ・日本の帝国主義と東アジア 〈　教材　〉 教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット	【知識・技能】18世紀後半以降の国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解する。 列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考・判断・表現】国民国家の形成の背景や影響などに着目して，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し，課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	**第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち** 【知識及び技能】国際関係の緊密化，アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭，植民地の独立，大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化，生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	〈　指導事項　〉 **①第一次世界大戦と大衆社会** ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・ヴェルサイユ＝ワシントン体制 ・アジア諸国の独立運動 ・東アジアの民族運動と日本 ・アメリカの大衆社会 ・大正デモクラシーと日本社会の変化 〈　教材　〉 教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット	【知識・技能】第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 【思考・判断・表現】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第２章　国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】国際関係の緊密化，アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭，植民地の独立，大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化，生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	〈　指導事項　〉 **②経済危機と第二次世界大戦** ・世界恐慌 ・ファシズムと軍部の台頭 ・日中戦争の会開始と戦時下の日本 ・第二次世界大戦 **③第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序** ・国際連合と国際経済体制 ・冷戦の開始とアジアへの波及 ・敗戦国の戦後改革と日本国憲法の制定 ・平和条約と日本の独立回復 〈　教材　〉 教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット	【知識・技能】世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解する。 第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 【思考・判断・表現】経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	**第３章　グローバル化と私たち** 【知識及び技能】冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	〈　指導事項　〉 **①冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭** ・アジア諸国の独立と中東戦争 ・アフリカ諸国の独立と第三世界の台頭 ・核戦争の危機から軍縮へ ・西側諸国の多極化と日本の動向 ・米中の動揺とベトナム戦争 **②国際秩序の変容と21世紀の世界** ・石油危機とイスラーム復興 ・東南アジア・東アジアの経済成長 ・冷戦の終結とソ連の解体 ・地域紛争の頻発とアメリカの動揺 ・グローバル化と地域統合の動き ・情報通信技術の発展と環境問題への対応 〈　教材　〉 教科書、歴史総合ノート、プリント、タブレット	【知識・技能】脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解する。 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解する。 冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 【思考・判断・表現】地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1 合計 70

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　地歴科　　科目　世界史探究

教　科：　地歴科　　科　目：　世界史探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　I　組

使用教科書：（ 詳説　世界史探究　　山川出版社　　）

教科　　地歴科　　の目標：

【知識及び技能】我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解するとともに，歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用できる。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的・地理的事象から課題を見いだし，我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

科目　　世界史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第Ⅰ節 諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 ・おもな古代文明について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 ・古代におけるアジアやヨーロッパの身分・階級・王権・宗教に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 ・壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	指導事項 ・文明の成立と古代文明の特質 ・アジア世界・イスラーム世界・ヨーロッパ世界の形成 教材 ・プリント、詳説世界史図録 詳説世界史10分間テスト ・生徒用タブレット	【知識・技能】 オリエント文明，ギリシア・ローマ文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 オリエント文明，ギリシア・ローマ文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリエント文明，ギリシア・ローマ文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	4
	第Ⅱ節 諸地域の交流・再編 【知識及び技能】 ・中世から近世にかけてユーラシア大陸において諸地域の交流が起こり、これにともない文化の伝播が起こったこと理解する。 ・中世から近世において諸地域でおこなわれていた交易の特徴について理解する。 ・交流・交易を通して、各地域の社会にも変容が起こることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・中世から近世にかけての、ユーラシア大陸における諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世から近世にかけての、ユーラシア大陸における諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	指導事項 ・アジア世界・イスラーム世界・ヨーロッパ世界の変容 ・近世ヨーロッパ世界の動向 教材 ・プリント、詳説世界史図録 詳説世界史10分間テスト ・生徒用タブレット	【知識・技能】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第Ⅲ節 諸地域の統合・変容 【知識及び技能】 ・近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 ・近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・産業革命と環大西洋革命 ・欧米国民国家の形成 ・帝国主義の成立と列強の世界分割 教材 ・プリント、詳説世界史図録 詳説世界史10分間テスト ・生徒用タブレット	【知識・技能】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど，国民国家と近代民主主義社会の形成，二つの大戦に関するに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1
	第Ⅲ節 諸地域の統合・変容 【知識及び技能】 ・近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 ・近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・アジア諸国の変革と民族運動 ・第一次次世界大戦とロシア革命 教材 ・プリント、詳説世界史図録 詳説世界史10分間テスト ・生徒用タブレット	【知識・技能】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど，国民国家と近代民主主義社会の形成，二つの大戦に関するに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	第Ⅲ節 諸地域の統合・変容 【知識及び技能】 ・近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 ・近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ ・アジア・アフリカの民族運動 ・世界恐慌 教材 ・プリント、詳説世界史図録 詳説世界史10分間テスト ・生徒用タブレット	【知識・技能】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど，国民国家と近代民主主義社会の形成，二つの大戦に関するに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	13
	中間考査			○	○		1
	第Ⅲ節 諸地域の統合・変容 【知識及び技能】 ・近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 ・近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序の形成 教材 ・プリント、詳説世界史図録 詳説世界史10分間テスト ・生徒用タブレット	【知識・技能】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど，国民国家と近代民主主義社会の形成，二つの大戦に関するに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	14
	期末考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	第Ⅳ節 地球世界の課題 【知識及び技能】 ・冷戦終結後における「紛争解決や共生」「経済格差の是正や経済発展」「科学技術の発展や文化の変容」といった事項に関して、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解する。 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界 教材 ・プリント、詳説世界史図録 詳説世界史10分間テスト ・生徒用タブレット	【知識・技能】 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	12
	学年末考査			○	○		1
							計 70

文京　高等学校 令和７年度（２学年用）教科　　地理歴史　　科目 日本史探究

教　科：地理歴史　　科　目：日本史探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　I　組

使用教科書：（ 日本史探究 詳説日本史　（山川出版社）　　）

教科　　地理歴史　　の目標：社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　　日本史探究　　の目標：社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第Ⅰ部　原始・古代 【知識及び技能】 ①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 ②原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ③国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 ④貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ②黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ④中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ⑤地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	〈　指導項目　〉 ①日本文化のあけぼの ・文化の始まり ・農耕社会の成立 ②古墳とヤマト政権 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷 ③律令国家の形成 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容 ④貴族政治の展開 ・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 ②原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 ④貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ②黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**第Ⅱ部　中世** 【知識及び技能】 ①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 ②中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ④武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ⑤武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　指導事項　〉 ①院政と武士の躍進 ・院政の始まり ・院政と平氏政権 ②武家政権の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 ③武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 ②中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ④武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・権力の主体の変化、東アジアとの関①りなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ⑤武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	**第Ⅲ部　近世** 【知識及び技能】 ①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 ②近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。 ④産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　指導事項　〉 ①近世の幕開け ・織豊政権 ・桃山文化 ②幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 ③幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	**第Ⅲ部　近世** 【知識及び技能】 ①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 ②近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。 ④産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	**第Ⅳ部　近代・現代** 【知識及び技能】 ①対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解している。 ②近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正，日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 ④文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　指導事項　〉 ①近世から近代へ ・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ②近代国家の成立 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ③近代国家の展開 ・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦 ・ワシントン体制 ④近代の産業と生活 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解している。 ②近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正，日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 ④文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	**第Ⅳ部　近代・現代** 【知識及び技能】 ①恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 ②占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 ③歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ②第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、これまでの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現している。 ④歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　指導事項　〉 ①近世から近代へ ・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ②近代国家の成立 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ③近代国家の展開 ・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦 ・ワシントン体制 ④近代の産業と生活 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 ②占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 ③歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ②第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、これまでの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現している。 ④歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　地歴科　　科目 選択世界史

教　科：　地歴科　　科　目：　選択世界史　　単位数：　6　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　C　組

使用教科書：（ 詳説　世界史探究　　山川出版社　　）

教科　　地歴科　　の目標：

【知識及び技能】 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解するとともに，歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用できる。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的・地理的事象から課題を見いだし，我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

科目　　選択世界史　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第Ⅰ節 諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 ・おもな古代文明について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 ・古代におけるアジアやヨーロッパの身分・階級・王権・宗教に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 ・壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	指導事項 ・文明の成立と古代文明の特質 ・中央ユーラシアと東アジア世界 ・南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・西アジアと地中海周辺の国家形成 教材 ・プリント、詳説世界史図録 　世界史総合問題集＋α ・生徒用タブレット	【知識・技能】 オリエント文明，ギリシア・ローマ文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 オリエント文明，ギリシア・ローマ文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリエント文明，ギリシア・ローマ文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	80
2学期	第Ⅱ節 諸地域の交流・再編 【知識及び技能】 ・中世から近世にかけてユーラシア大陸において諸地域の交流が起こり、これにともない文化の伝播が起こったこと理解する。 ・中世から近世において諸地域でおこなわれていた交易の特徴について理解する。 ・交流・交易を通して、各地域の社会にも変容が起こることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・中世から近世にかけての、ユーラシア大陸における諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世から近世にかけての、ユーラシア大陸における諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	指導事項 ・イスラーム教の成立とヨーロッパ関亜の形成 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・ヨーロッパ世界の変容と展開 ・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・アジア諸帝国の繁栄 教材 ・プリント、詳説世界史図録 　世界史総合問題集＋α ・生徒用タブレット	【知識・技能】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	96
3学期	第Ⅲ節 諸地域の統合・変容 【知識及び技能】 ・近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 ・近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・帝国主義とアジアの民族運動 教材 ・プリント、詳説世界史図録 　世界史総合問題集＋α ・生徒用タブレット	【知識・技能】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど，国民国家と近代民主主義社会の形成，二つの大戦に関するに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	16 計 192

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科　地歴科　　科目 世界史演習

教　科：　地歴科　　科　目：　世界史演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　C　組

使用教科書：（ 詳説　世界史探究　　山川出版社　　）

教科　　地歴科　　の目標：

【知識及び技能】我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解するとともに，歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用できる。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的・地理的事象から課題を見いだし，我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。

科目　　世界史演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第Ⅱ節 諸地域の交流・再編 【知識及び技能】 ・中世から近世にかけてユーラシア大陸において諸地域の交流が起こり、これにともない文化の伝播が起こったこと理解する。 ・中世から近世において諸地域でおこなわれていた交易の特徴について理解する。 ・交流・交易を通して、各地域の社会にも変容が起こることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・中世から近世にかけての、ユーラシア大陸における諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世から近世にかけての、ユーラシア大陸における諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	指導事項 ・近世ヨーロッパ世界の動向 教材 ・プリント、詳説世界史図録 世界史総合問題集＋α ・生徒用タブレット	【知識・技能】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と中世ヨーロッパなど周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	20
	第Ⅲ節 諸地域の統合・変容 【知識及び技能】 ・近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 ・近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・産業革命 教材 ・プリント、詳説世界史図録 世界史総合問題集＋α ・生徒用タブレット	【知識・技能】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど，国民国家と近代民主主義社会の形成，二つの大戦に関するに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	6

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	第Ⅲ節　諸地域の統合・変容 【知識及び技能】 ・近代欧米社会における産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化、革命の意義、国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 ・近代欧米社会における帝国主義諸国の抗争、それにともなうアジア諸国の植民地化と諸改革・変革、さらには二度の世界大戦と戦後の冷戦に関する基本的な知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・環大西洋革命 ・イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・アジア諸地域の動揺 教材 ・プリント、詳説世界史図録 　世界史総合問題集＋α ・生徒用タブレット	【知識・技能】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まりなど，国民国家と近代民主主義社会の形成，二つの大戦に関するに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義，19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，二つの大戦などに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	32
3学期	第Ⅳ節　地球世界の課題 【知識及び技能】 ・冷戦終結後における「紛争解決や共生」「経済格差の是正や経済発展」「科学技術の発展や文化の変容」といった事項に関して、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解する。 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	指導事項 ・冷戦 教材 ・プリント、詳説世界史図録 　世界史総合問題集＋α ・生徒用タブレット	【知識・技能】 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	6 計 64

文京　高等学校 令和7年度（３学年用）教科　　地理歴史　　科目 選択日本史

教　科：　地理歴史　　科　目：　選択日本史　　単位数：　6　単位

対象学年組：第　3 学年　D　組～　F　組

使用教科書：（ 日本史探究 詳説日本史　（山川出版社）　　）

教科　　地理歴史　　の目標：　社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　　選択日本史　　の目標：　社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**第Ⅰ部　原始・古代** 【知識及び技能】 ①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 ②原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ③国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 ④貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ②黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ④中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ⑤地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	〈　指導項目　〉 ①日本文化のあけぼの ・文化の始まり ・農耕社会の成立 ②古墳とヤマト政権 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 ②原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 ④貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ②黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	50
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第Ⅰ部　原始・古代 【知識及び技能】 ①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 ②原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ③国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 ④貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ②黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ④中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ⑤地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	〈　指導項目　〉 ③律令国家の形成 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容 ④貴族政治の展開 ・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 ②原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 ④貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ②黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	第Ⅱ部　中世 【知識及び技能】 ①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 ②中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ④武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ⑤武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　指導事項　〉 ①院政と武士の躍進 ・院政の始まり ・院政と平氏政権 ②武家政権の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 ③武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 ②中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ④武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①権力の主体の変化、東アジアとの関りなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 ⑤武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	50
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	第Ⅲ部　近世 【知識及び技能】 ①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 ②近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。 ④産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　指導事項　〉 ①近世の幕開け ・織豊政権 ・桃山文化 ②幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 ③幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	第Ⅲ部　近世 【知識及び技能】 ①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 ②近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ③法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。 ④産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 ③歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ④織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ⑤社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近世の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		1
							合計 192

文京　高等学校 令和7年度（３学年用）教科　地理歴史　科目 日本史演習

教　科：地理歴史　科　目：日本史演習　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　D　組～　F　組

使用教科書：（ 日本史探究 詳説日本史　（山川出版社）　）

教科　地理歴史　の目標：社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　日本史演習　の目標：社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第Ⅳ部　近代・現代 【知識及び技能】 ①恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 ②占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 ③歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ②第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、これまでの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現している。 ④歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　指導事項　〉 ①恐慌と第二次世界大戦 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦 ②占領下の日本 ・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 ②占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 ③歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ②第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、これまでの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現している。 ④歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第Ⅳ部　近代・現代 【知識及び技能】 ①恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 ②占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 ③歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ②第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、これまでの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現している。 ④歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　指導事項　〉 ③高度経済成長の時代 ・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ ④激動する世界と日本 ・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容 〈　教材　〉 教科書、図説、史料集 プリント、タブレット	【知識及び技能】 ①恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 ②占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 ③歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ②第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ③日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化、これまでの学習で見いだした画期などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現している。 ④歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	【知識及び技能】 演習問題を通じて、日本文化のあけぼの、古墳とヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治の展開、院政と武士の躍進、武家政権の成立、武家社会の成長について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を通じて、日本文化のあけぼの、古墳とヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治の展開、院政と武士の躍進、武家政権の成立、武家社会の成長について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通じて、原始・古代、中世の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　問題演習　〉 ①原始・古代問題演習 ②中世問題演習	【知識及び技能】 演習問題を通じて、日本文化のあけぼの、古墳とヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治の展開、院政と武士の躍進、武家政権の成立、武家社会の成長について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を通じて、日本文化のあけぼの、古墳とヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治の展開、院政と武士の躍進、武家政権の成立、武家社会の成長について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通じて、原始・古代、中世の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 演習問題を通じて、近世の幕開け、幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺、近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦、占領下の日本、高度経済成長の時代、激動する世界と日本について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を通じて近世の幕開け、幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺、近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦、占領下の日本、高度経済成長の時代、激動する世界と日本について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通じて、近世、近代・現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	〈　問題演習　〉 ①近世問題演習 ②近代・近現代問題演習	【知識及び技能】 演習問題を通じて、近世の幕開け、幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺、近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦、占領下の日本、高度経済成長の時代、激動する世界と日本について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 演習問題を通じて近世の幕開け、幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺、近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦、占領下の日本、高度経済成長の時代、激動する世界と日本について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通じて、近世、近代・現代の地域・日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計 64

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科　　地理歴史　　科目 地理探究

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理探究　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　　ＡＢ　組　（必修選択）

使用教科書：（「新詳　地理探究」　帝国書院　、「高等地図帳」　二宮書店　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理探究　　の目標：社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　自然環境 【知識及び技能】 地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 経度の違いから時差の概念を捉え，日常生活における時差計算の技能を身につけ，球面として成り立つ世界認識をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。地球上の位置情報の基礎として，球体としての地球，緯度・経度の基本的なしくみ，地球上での位置の示し方を理解する。	・指導事項 「地球環境と人間」 「地形」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて理解している。。 【思考・判断・表現】地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
		・指導事項 「気候」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット	【知識・技能】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 【思考・判断・表現】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
		・指導事項 「地球環境問題」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット	【知識・技能】さまざまな地球環境問題を解決して，地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには，どのような考え方で，どのような取り組みをすればよいかについて理解している。 【思考・判断・表現】さまざまな地球環境問題を解決して，地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには，どのような考え方で，どのような取り組みをすればよいかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地球環境問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第２章　資源と産業 【知識及び技能】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 「農林水産業」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 【思考・判断・表現】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】農林水産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
		・指導事項 「食糧問題」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】食料の分配の世界的な偏りや，飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。 【思考・判断・表現】食料の分配の世界的な偏りや，飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】食料問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2
		・指導事項 「エネルギー・鉱山資源」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット	【知識・技能】世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや，エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか，生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。 【思考・判断・表現】世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや，エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか，生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて，多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】エネルギー・鉱産資源について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
		・指導事項 「資源・エネルギー問題」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し，今後，資源・エネルギー問題を解決し，持続可能な社会を実現するためには，どのような考え方が必要かについて理解している。 【思考・判断・表現】これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し，今後，資源・エネルギー問題を解決し，持続可能な社会を実現するためには，どのような考え方が必要かについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】資源・エネルギー問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2
		・指導事項 「工業」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット	【知識・技能】さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて理解している。 【思考・判断・表現】さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】工業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
		・指導事項 「第３次産業」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】経済が発展し，物やサービスへの需要が高まったため，主力の産業となった第3次産業の現状はどのようになっているかについて理解している。 【思考・判断・表現】経済が発展し，物やサービスへの需要が高まったため，主力の産業となった第3次産業の現状はどのようになっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第3次産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第３章　交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項　「交通・通信」「観光」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には，なぜ傾向や地域性，地域間格差が現れているかについて理解している。　日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや，観光の特徴や利点，課題について理解している。 【思考・判断・表現】社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には，なぜ傾向や地域性，地域間格差が現れているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。　日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや，観光の特徴や利点，課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】交通・通信について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
		・指導事項　「貿易と経済圏」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】拡大を続けている世界の貿易では，地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。 【思考・判断・表現】拡大を続けている世界の貿易では，地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】貿易と経済圏について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。				
	第４章　人口・村落・都市 【知識及び技能】人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項　「人口」「人口問題」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布，年齢別構成，移動には，どのような特徴がみられるかについて理解している。　社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や，先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。 【思考・判断・表現】増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布，年齢別構成，移動には，どのような特徴がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。　社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や，先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】人口について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。　人口問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的	○	○	○	4
		・指導事項　「村落と都市」 「都市と居住問題」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント、タブレット ・一人1台端末の活用　等	【知識・理解】村落や都市の立地や発達，形態，変容のしかたにみられる傾向や規則性，国や地域によって異なる地域性について理解している。　世界の都市が持続的に発展していくための課題，日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】村落や都市の立地や発達，形態，変容のしかたにみられる傾向や規則性，国や地域によって異なる地域性について，多面的・多角的に考察し，表現している。　世界の都市が持続的に発展していくための課題，日本の都市の課題と解決するための取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している 【主体的に取り組む態度】村落と都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。都市・居住問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	第５章　生活文化、民族・宗教 【知識及び技能】生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現力等】生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力・人間性等】生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 「衣食住」 「民族・宗教と民族問題」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・理解】世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性，各地にみられる民族問題の背景と自然環境や社会的背景のに関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性，各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて，自然環境や社会的環境もふまえて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】民族・宗教と民族問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
		・指導事項　「国家の領土と領域」 ・教材　同上 ・一人１台端末の活用　等	【知識・理解】国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること，領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。 【思考・判断】国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること，領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】国家の領域と領土問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	第２部　現代世界の地誌的考察 【知識・理解】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力・人間性等】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項　「第１章　現代世界の地域区分」 「第２章　現代世界の諸地域」 ・教材　同上 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】現代世界の諸地域について、問題演習を通して地誌的に考察する方法・技術について理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の諸地域について、問題演習を通して、地域的課題やt級的課題について、問題演習を通して多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の諸地域について、問題演習を通してよりよい社会の実現のための課題を考察している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2
3学期	演習 【知識及び技能】 地理全般について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 地理全般について、説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 地理全般について、多角的にに分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・地理全般 【教材】　教科書・副教材・大学入試過去問等	【知識・技能】 地理全般について，基本的な概念や定義などを理解している。 【思考・判断・表現】 地理全般について，説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理全般について、問題演習を通して課題をとらえ、理解しようとしている。	○	○	○	70
	定期考査	・指導事項 ・教材		○	○	○	2 合計 140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科　地理歴史　科目　地理演習

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理演習　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　　ＡＢ　組　（必修選択）

使用教科書：（「高等学校　新地理総合」　帝国書院、「高等地図帳」　二宮書店　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理演習　　の目標：　演習を通して、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
1学期	単元：生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力・人間性等】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 「東アジア」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用 「Google　earth」のプロジェクトツアーを活用する。	【知識・技能】・問題演習を通し、工業化や経済発展が著しく，世界経済に大きな影響を与えている中国について，民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 ・日本と地理的な距離が近く，急速な経済成長を遂げている韓国について，自然環境や歴史と生活文化，産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】・問題演習を通し、工業化や経済発展が著しく，世界経済に大きな影響を与えている中国について，民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本と地理的な距離が近く，急速な経済成長を遂げている韓国について，自然環境や歴史と生活文化，産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】・問題演習を通し、中国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 ・韓国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
		・指導事項 「東南アジア」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット	【知識・技能】古くから農業が盛んで，近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について，問題演習を通して文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】　古くから農業が盛んで，近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について，問題演習を通して文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】ASEAN諸国について，問題演習を通してよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
		定期考査		○	○		2
		・指導事項 「南アジア」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用 「Google　earth」のプロジェクトツアーを活用する。	【知識・技能】問題演習を通し、近年急速に経済が成長しているインドについて，産業の発展や農村・社会の変化，国内の経済格差をはじめとする課題を，経済成長に関連づけて理解している。 【思考・判断・表現】問題演習を通し、近年急速に経済が成長しているインドについて，産業の発展や農村・社会の変化，国内の経済格差をはじめとする課題を，経済成長に関連づけて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】問題演習を通し、インドについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
		・指導事項 「西アジアと中央アジア」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用 「Google　earth」のプロジェクトツアーを活用する。	【知識・技能】問題演習を通し、自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが，異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて，二つの地域を比較し，一般性や地域の特殊性を理解している。 【思考・判断・表現】問題演習を通し、自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが，異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて，二つの地域を比較し，一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】問題演習を通し、西アジアと中央アジアについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
		・指導事項 「北アフリカとサハラ以南アフリカ」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用 「Google　earth」のプロジェクトツアーを活用する。	【知識・技能】問題演習を通し、アフリカとしてのまとまりをもっている一方で，大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて，二つの地域を比較し，類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 【思考・判断・表現】問題演習を通し、アフリカとしてのまとまりをもっている一方で，大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて，二つの地域を比較し，類似する一般性や地域の特殊性を，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】問題演習を通し、北アフリカとサハラ以南アフリカについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
2学期	単元：生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力・人間性等】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 「EU諸国」 ・教材 教科書、副教材、地図帳、資料集 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用 「Google earth」のプロジェクトツアーを活用する。	【知識・技能】問題演習を通し、二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて，民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】問題演習を通し、二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて，民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】問題演習を通し、EU諸国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
		・指導事項　「ロシア」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】問題演習を通し、かつて社会主義国だったが，1990年代に国家体制が変化し，現在は新しい国づくりを進めているロシアについて，農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している 【思考・判断・表現】問題演習を通し、かつて社会主義国だったが，1990年代に国家体制が変化し，現在は新しい国づくりを進めているロシアについて，農業や工業を国家体制の変化に関連づけて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習を通し、ロシアについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。				
		・指導事項　「アングロアメリカ」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・理解】移民国家としての多様性をもち，世界有数の農業国であり，先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について，地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】移民国家としての多様性をもち，世界有数の農業国であり，先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について，地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】アメリカ合衆国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	第５章　生活文化、民族・宗教 【知識及び技能】生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現力等】生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力・人間性等】生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導事項　「ラテンアメリカ」 ・教材 教科書、資料集、問題集、地図帳、 プリント、タブレット ・一人１台端末の活用　等	【知識・理解】かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり，それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて，文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。 【思考・判断・表現】かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり，それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて，文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】ラテンアメリカについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
		・指導事項　「オセアニア」 ・教材　同上 ・一人１台端末の活用　等	【知識・理解】南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが，自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて，二つの国を比較し，類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 【思考・判断・表現】南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが，自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて，二つの国を比較し，類似する一般性や地域の特殊性を，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に取り組む態度】オーストラリアとニュージーランドについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2
	演習 【知識及び技能】 地理全般について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 地理全般について、説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 地理全般について、多角的にに分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・地理全般 【教材】　教科書・副教材・大学入試過去問等	【知識・技能】 地理全般について，基本的な概念や定義などを理解している。 【思考・判断・表現】 地理全般について，説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理全般について、問題演習を通して課題をとらえ、理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2
3学期	演習 【知識及び技能】 地理全般について、基本的な概念や定義などを理解する能力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 地理全般について、説明でき、考え表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 地理全般について、多角的にに分析し、表現できる能力を養う。	【指導事項】 ・地理全般 【教材】　教科書・副教材・大学入試過去問等	【知識・技能】 地理全般について，基本的な概念や定義などを理解している。 【思考・判断・表現】 地理全般について，説明でき、考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理全般について、問題演習を通して課題をとらえ、理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査	・指導事項 ・教材		○	○	○	1 合計 70